



白鷹町の仏像展 ①

塩田行屋の仏たち

中世から明治の仏像



役行者倚像
(鎌倉時代、町指定文化財)



蔵王権現懸仏
(江戸時代前期、町指定文化財)



如意輪観音像
(明治10年、新海宗慶/竹太郎 作)



四国八十八ヶ所霊場本尊仏像
(明治32年、新海宗慶 作)

白鷹町十王塩田に位置する塩田行屋は、南陽市小滝出身の湯殿山行者・明寿海上人により明治10年頃に建立され、遠くは新潟県長岡市・三条市付近まで広く信仰を集めました。

塩田行屋には鎌倉期から明治期までの仏像が多く安置されています。中世から近世のものは、明治の神仏分離に伴い失われようとするものを明寿海上人が集めたと思われ、中でも如来形立像(鎌倉後期)、役行者倚像(鎌倉)、蔵王権現懸仏(江戸前期)は早くから良作として知られ、白鷹町指定文化財となっています。また明治期に造像されたものは近代彫刻家・新海竹太郎の父、新海宗慶(宗松)の作がほとんどで、彫刻としてはほとんど類例が見られない四国八十八ヶ所霊場本尊仏像などがあります。加えて本展の調査により、宗慶の作の中に少年期の竹太郎の銘があるものも新たに発見されています。この他、「湯殿山大日坊真如海上人」の陰刻がある錫杖や西川町大井沢の大日寺の華鬘など、貴重な文化財が遺されています。

本展では、塩田行屋のこうした文化財を余すことなくご紹介いたします。

関連イベント ※下記は、当日の観覧券が必要(予約不要)

■講演会「塩田行屋の仏像―町指定文化財について」

日時: 11月23日(祝) 14:00～15:30

講師: 長坂一郎(東北芸術工科大学教授)

■講演会「新海宗慶・竹太郎親子の仏像について」

日時: 12月11日(日) 14:00～15:00

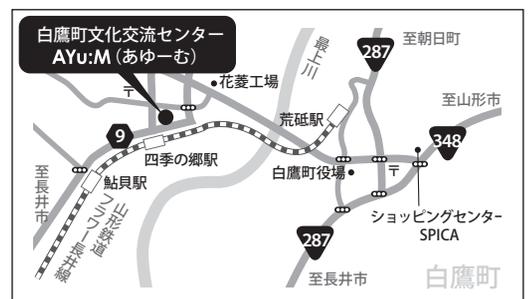
講師: 宮本晶朗(当館学芸員)

■学芸員による展示解説

日時: 11月20日(日)、27日(日)、12月4日(日) 14:00～14:30

■同時開催: 梅津五郎通常展[4]

梅津五郎: 白鷹町出身の洋画家。東光会理事長、日展参与を歴任。



〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町鮎貝仮換地24街区1番
■お車でお越しの場合/山形市より国道348号線で約35分
■電車でお越しの場合/赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線〔荒砥行き〕で「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分
shirataka@ayu-m.jp/ <http://www.ayu-m.jp/> TEL 0238-85-9071

白鷹町の仏像展① 中世から明治の仏像

塩田行屋の仏たち

2011年11月15日(火) — 12月11日(日)

休館日／月曜日 開館時間／午前9時—午後7時
観覧料／一般200円 高校生以下無料



同時開催 梅津五郎通常展 [4]

白鷹町文化交流センター あゆむ **AYU:M**

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町鮎貝仮換地24街区1番
shirataka@ayu-m.jp <http://www.ayu-m.jp/>

問合せ **0238-85-9071**

主催／白鷹町文化交流センター 後援／白鷹町教育委員会、白鷹町史談会
協力／塩田行屋、東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター